

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31年 1月 12日

事業所名 備前三門校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|-----------------------|-----------|-----------------------|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | <input type="radio"/> | | | 危険を予測できるように、お子様の初動の前兆を見極められる様、心がけている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | <input type="radio"/> | | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | <input type="radio"/> | | | お子様の活動に応じた空間づくりが構築できるよう職員間で情報共有している。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | <input type="radio"/> | | | 些細なことでも、お子様の課題克服の手がかりになる可能性を考慮し、相談、連絡している。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | <input type="radio"/> | | | 保護者様との関わりやご相談に丁寧に対応することで、お子様の日常的な発達の促しにつなげられると考え、取り組んでいる。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | <input type="radio"/> | | | 事業所の様子や季節における伝言など定期的に発信して、自己評価においても公開している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | <input type="radio"/> | 現在のところ、評価結果を外部委託していない。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | <input type="radio"/> | | | 研修や事例をもとに、事業所での改善点を常に想定して、日々療育に取り組んでいる。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | <input type="radio"/> | | | アセスメントをもとに支援計画を作成し、定期的、または保護者様の申し出をもとに支援計画を作成している。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | <input type="radio"/> | | | 標準化されてツールや個々のお子様のニーズに合わせてツールを手作りで作成したり、また、お子様と一緒に作成している。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | <input type="radio"/> | | | 支援での迷いは、危険因子につながるので、些細なことでも、職員間で連絡、相談して立案するようにしている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | <input type="radio"/> | | | お子様のその日の状態に合わせて、自発的に取り組めるようにしている。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | <input type="radio"/> | | | 必要に応じて課題提起を実施している。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | | | <input type="radio"/> | フィードバック時の時間を利用して、少人数での活動ができるようにしている。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | <input type="radio"/> | | | 日常的に内容の確認や役割分担を把握している。朝礼はもとより、支援準備中に支援内容の確認、役割分担など適宜相談している。 |

| | | | | | |
|---|--|---|--|--|---|
| ⑩ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 日常的に終業後に情報共有している。 終礼で本日の振り返り、反省を発言できるよう心がけている。 |
| ⑪ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | お子様ごとの支援の内容や様子の変化など細かく記録するもの（支援シート）と、正式な記録となる指導記録を記述している。 |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|--|---|--|
| | ⑫ | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 計画の見直しは定期的実施している。また、お子様の発達の変化や保護者様の申し出に応じて、計画を見直している。 |
| | ⑬ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | | 個々のお子様の課題に応じて、基本活動を複数組み合わせ、支援を実施している。 |
| 関係機関 関係 保護者との 連携 関係 機関 関係 保護者との 連携 | ⑭ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 子どもの状況に精通した者が会議に参画している。 また、職員間で日常的に個々のお子様の状況を職員間で共有することで、すべてのお子様の状況把握するように心がけている。 |
| | ⑮ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 保護者様の要望により、学校との連絡調整の為に情報共有や相互理解を図れるように取り組んでいる。 |
| | ⑯ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | 必要に応じて連携できるように取り組んでいる。 協力担当医との連携はもとより、保護者様の要望や必要に応じて、利用者様の主治医とも連携できるように準備している。 |
| | ⑰ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 支援内容の連携ができるように取り組んでいる。 保護者様の要望により、移行支援としての情報共有や相互理解を図れるように取り組んでいる。 |
| | ⑱ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | お子様のより良い生活の実現の為に支援経過や内容の情報共有をしている。 |
| | ⑲ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 保護者様の要望により、他の専門機関との連携がとれるよう取り組んでいる。 |
| | ⑳ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 児童クラブや児童館との交流は現在のところ実施していない。 |
| | ㉑ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 定期的に参画している。 支援の質の向上を図るため、定期的な参画を心がけている。 |
| | ㉒ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 保護者様との関わりは日常的に習慣にしている。 お子様の現状の共通理解は、支援時間外での関わり方に影響するので、常に保護者様との個々の状況課題の共通理解を図ることに取り組んでいる。 |
| | ㉓ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | 具体的にペアレント・トレーニングとしての実施はしていない。 具体的な活動はないが、保護者様の希望で、家族の悩みや困りごとへの助言などの家族支援をしている。 |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|--|---|--|
| 保護者への説明責任等 | ③⑩ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時には必ず、保護者様にご理解いただけるよう説明し、必要に応じて説明させていただいている。 |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 保護者様からの要望より、お困りごとへの助言が適切にできるような心がけている。 |
| | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | 父母の会の支援や家族間での連携の要望により、保護者同士の連携の支援ができるようにしている。 |
| | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 苦情への対応は苦情内容を周知し、迅速丁寧に対応することを心がけている。 |
| | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 毎月2回、HPで事業所の様子や情報を発信している。 |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 個人情報の保守の徹底を図っている。 |
| | ③⑯ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 親子の意志疎通の擦り合わせに取り組んでいる。お子様から発信されるサインなど、保護者様と共に考えていく雰囲気づくりと相談し合える状況づくりに取り組んでいる。 |
| | ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | 地域に根差した事業運営を目指している。 |
| 非常時等の対応 | ③⑱ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 定期的に訓練し、事業所内でシミュレーションを実施するなど、日常的に意識が持続するように職員間で認識向上を図っている。 |
| | ③⑲ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 毎月訓練を実施することで、災害のシミュレーションを実施して、認識の向上を図っている。 |
| | ④① | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 定期的な研修によって職員間で共通理解を図るとともに、意識の向上を日常的に持続するよう取り組んでいる。 |
| | ④② | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | 「身体拘束ゼロ」を掲げ、支援の技術の向上と、声かけによるなごめる雰囲気構築を図れるよう取り組み、尽力している。 |
| | ④③ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 諸対応が必要な情報は把握している諸対応が必要な情報は把握している。事業所内での飲食での対応はないのが、お子様の状況として把握できるような心がけている。 |
| | ④④ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 日常的に共有している。また、ハイリソットの法則に基づく危険因子も把握できる体制づくりと小さな危険も回避できる様、心がけると共にその様な状況が発生した時点で記録し、職員間で情報共有している。 |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 12 日

事業所名 備前三門校 保護者等数（児童数） 41 回収数 17 割合 41 %

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見 |
|----------|---|--|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 10 | 6 | 1 | ①子供が増えてきたので、当たったりしないか気をつけな いといけない時もある。 ②もう少し広げればありがたいが、現状では最大の活用が できていると思う。 対応：混雑する際は、職員全員で危険に対して回避の 体制を構築している。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 16 | 1 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバ リアフリー化の配慮が適切になされているか | 11 | 5 | 1 | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され た上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成され ているか | 16 | | 1 | 学校での学習で不安なところを課題に盛り込んでくれるの で助かる。 対応：お様が苦手とする部分に自発的に取り組める 様、成功体験を反復しながらタイミングを図って取り組んで いる。 |
| | ⑤ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている か | 16 | | 1 | 日常の困りごとなどを相談すると一緒にできる対応策をす ぐ考えてくれる。 対応：お困りごとの相談が保護者からあれば、迅速に対 応策や解決の糸口を一緒に考案し、実行できるように取 り組めるよう心がけている。 |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のな い子どもと活動する機会があるか | 4 | 9 | 4 | ① マンツーマンに意味があるので、機会が無くても良い。 ②私がよく知らないだけかもしれない。 対応：個別での効果を活かせる取り組みを模索してい る。 |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明 がなされたか | 17 | | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができている か | 17 | | | ①親は気づきにくい「できるようになったこと」を教えてくれる ので、子どもの状況をより知ることができている。 ②こどもの事を熱心に考えてくれるので、話をしてもらうこと で前向きになれる。 対応：お様の様子の気づきに対しては、保護者様と共 通理解を深め、親子様の家庭での関わり方のきっかけにし てもらっている。 |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支 援が行われているか | 17 | | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か | 2 | 9 | 6 | 必要かどうかはわからない。 |

| | | | | | | | |
|---------|---|--|---|---|---|---|---|
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 1 | 2 | 5 | ① 苦情はないのでわからない。 ②いつも細部にまで配慮いただいている。 対応：苦情発生があれば、迅速かつ丁寧に対応させていただきます。 | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 1 | 7 | | 現在十分配慮してもらっている。 対応：お子様や保護者への関わり方を個々のニーズに合わせてられるよう心がけている。 | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | 1 | 1 | 2 | ①自分の子への課題、活動内容は教えてもらって知っているので十分である。 ②できれば「自閉症スペクトラム」などの目標や知識を 対応：家庭での過ごし方に活かしていただける様、活動内容をお伝えする様心がけている。 |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 1 | 5 | 2 | | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 1 | 5 | 2 | | 入口にあるファイルの文書を見ました。 対応：事業所運営について、いつでも確認できるように掲示している。 |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 1 | 1 | 6 | | 貼付されている文書で訓練されていることがわかった。 対応：利用者様も訓練に参加していただける機会をつくる様心がけている。 |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 1 | 7 | | | ① 次回は〇〇しようと約束してくれるので、子どもは楽しみにしている。 ②こどもの興味に合わせてくれるので、きり好み！と言っている。 対応：お子様が「楽しい」思える雰囲気づくりを心がけている。 |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 1 | 7 | | | ①親も不安をやわらげてもらっている。 ②早々に相談にのってくれるので頼りにしている。 対応：お子様の発達を促す為に、保護者様と連携を密にし、共有することを心がけている。 |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。